

成果を社会に活かす部会の検討状況について

平成 16 年 8 月 26 日
成果を社会に活かす部会

本部会は、平成 11 年 11 月に広報小委員会を発展的に解消して設置されたものであり、「地震調査研究の推進について - 地震に関する観測、測量、調査及び研究に関する総合的かつ基本的な施策 - 」（平成 11 年 4 月、地震調査研究推進本部）を受け、地震調査研究の成果に関する方策について検討を進めている。

現在、「地震動予測地図の活用」を主な議題として、全国を概観する地震動予測地図の作成趣旨やその内容についての理解及び利用の促進を図ることを目指した報告書の作成に向けて検討を行っている。

地震動予測地図については、その作成手続きや基礎となったデータを含めた総体が成果といえる。この成果については、多様な利用者が、それぞれの立場において、様々な利用方法を見出しうる可能性を有している。報告書作成に当たってはこの点を重視すべきと考える。

なお、地震動予測地図のもととなる評価の予測精度、信頼度には現時点でなお精粗があることや、地震動予測地図利用に当たって留意すべき基礎情報についても併せ、できる限り正しく伝えるよう努めることとする。

本部会では、地震動予測地図の趣旨や内容が的確に理解されるとともに、その理解の上に立って、広く利用がなされるようにすることが重要であると考えている。このため、利用する側となる関係者の意見等も生かしながら、地震動予測地図利用に当たっての手引きとなる考え方をとりまとめることとし、このとりまとめに資するため、本部会のもとに「地震動予測地図利用検討ワーキンググループ」を設置し、地震動予測地図に係る関係者からの意見聴取、及びその結果等を踏まえた地震動地図利用に当たっての手引きとなる考え方についての検討を行うこととした。